

道経連通信

臨時号 10

発行所／北海道経済連合会

TEL:011-221-6166 (代表) / FAX:011-221-3608

発行人／菅原 光宏 全 10 頁

編集／高井 秀二、袖川 知恵美

臨時号

ホームページ <http://www.dokeiren.gr.jp/>

道経連通信 臨時号10

◆ 道経連 より

新型コロナウイルス感染症に係る若年層(10代~30代)の望ましい行動及び高齢者・基礎疾患を有する方等に対する重症化リスクの低減に関する注意喚起について

北海道経済部から「新型コロナウイルス感染症に係る若年層(10代~30代)の望ましい行動及び高齢者・基礎疾患を有する方等に対する重症化リスクの低減に関する注意喚起について」の文書を受領しましたので、会員の皆様にお知らせいたします。

北海道経済連合会 会長 真 弓 明 彦 様

北海道知事 鈴木 直道

新型コロナウイルス感染症に係る若年層（10代～30代）の望ましい行動及び高齢者・基礎疾患を有する方等に対する重症化リスクの低減に関する注意喚起について
（依頼）

このことについては、現状、道内において、新型コロナウイルスによる感染症の発生が続いていることから、去る2月28日に「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を発し、道民を挙げて感染拡大の防止に向けて様々な対策を講じているところです。

先般、厚生労働省から、「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」による「新型コロナウイルス感染症対策の見解」として、本道における感染状況や今後の感染拡大を防ぐための対策等が示されたところです。

この見解によると、「症状の軽い人も、気が付かないうちに、感染拡大に重要な役割を果たしてしまっていると考えられるとのこと」であり、また、「これまでに国内で感染が確認された方のうち、重症・軽症に関わらず、約80%の方は、他の人に感染させていない一方で、屋内の閉鎖的な空間など、一定条件を満たす場所において、一人の感染者が複数人に感染させた事例が報告されていること」、更には、「感染が確認された症状のある人の約80%が軽症、14%が重症、6%が重篤となっているものの、重症化した人も、約半数は回復しているとのこと」です。

また、「本道では、都市部に社会・経済活動の活発な人々が、感染のリスクが高い場所に多く集まりやすく、気が付かないうちに感染していたと考えられ、中でも、若年層に症状の軽い人が多いと考えられることから、そうした人々の一部の人が他の圏域に移動することで、本道の複数の地域に感染が拡大し、感染した高齢者の中から、発症したことが報告されたことにより、その拡大状況が初めて把握できたと考えられるとのこと」であり、更には、「10代から30代の若者世代は、新型コロナウイルス感染による重症化リスクが低く、こうした症状の軽い人が、重症化リスクの高い人に感染を広める可能性があるとのこと」です。

道としては、この感染症の早期の終息や道民の皆さんの命と健康を守るため、「やるべきことは、全てやる」との考えに立ち、「緊急事態宣言」の下、週末の不要・不急の外出を控えることなどについて、御理解と御協力をお願いしているところです。

若年層の方々及び重症化リスクのある高齢者や基礎疾患のあるの方々、周囲の方々による注意喚起や配慮いただくことなども含め、正しい知識や相談窓口等の重要な情報が、その対象となる方々に、感染防止意識の高揚がなされるよう、次の資料を活用するなどして、会員団体・企業等における周知に御協力いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 パンフレット「新型コロナウイルスを防ぐには」
- 2 相談窓口及び帰国者・接触者相談センターについて
（北海道庁ウェブサイト URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/singatakoronahaien.htm>）
- 3 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針（概要）
- 4 新型コロナウイルス緊急事態宣言（お願い）（令和2年3月12日）

経済部経済企画局経済企画課
経済企画グループ 主査 石村 晃子
電話 011-204-5308
ishimura.akiko@pref.hokkaido.lg.jp

新型コロナウイルスを防ぐには

新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種です。**発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴**です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれています。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつるといわれています。

飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

日常生活で気を付けること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにごまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ人混みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。

発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

こんな方はご注意ください

次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

センターでは、症状などをお聞きしたうえで、必要な場合は、専門の「帰国者・接触者外来」などの医療機関をご紹介します。

【帰国者・接触者相談センター】	電話番号	開設時間
● 札幌市保健所 (救急安心センターさっぽろ【受診相談】)	011-272-7119 (#7119)	24時間
● 旭川市保健所	0166-25-9848	8:45~21:00 (土日祝も含む)
● 市立函館保健所	0138-32-1547	平日 8:45~19:00
● 小樽市保健所	0134-22-3110	平日 8:50~17:20
※上記以外にお住まいの方		
● 道立保健所	※以下参照	平日 8:45~17:30
● 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課	011-204-5020	24時間

(道立保健所の相談センター一覧) ※以下のURLまたはQRコードからご覧いただけます。
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/tkh/hokensho/hokensho-kikokushasessyokusya.htm>



一般的なお問い合わせなどはこちら

その他、ご自身の症状に不安がある場合など、一般的なお問い合わせについては、次の窓口にご相談ください。

【相談窓口】	電話番号	開設時間
● 厚生労働省電話相談窓口	0120-565653 (フリーダイヤル)	9:00~21:00 (土日祝も含む)
● 札幌市保健所 (新型コロナウイルス一般電話相談窓口)	011-632-4567	9:00~21:00 (土日祝も含む)
● 旭川市保健所	0166-26-2397	平日 8:45~17:15
● 市立函館保健所	0138-32-1547	平日 8:45~17:30
● 小樽市保健所	0134-22-3110	平日 8:50~17:20
※上記以外にお住まいの方		
● 道立保健所	※以下参照	平日 8:45~17:30
● 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課	011-204-5020	24時間

(道立保健所一覧) ※以下のURLまたはQRコードからご覧いただけます。
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/tkh/hokensho/hokensho.htm>



新型コロナウイルス感染症対策の基本方針（概要）

令和2年2月25日
新型コロナウイルス感染症対策本部決定

1 現在の状況と基本方針の趣旨

複数地域で感染路不明の患者が散発的に発生。一部地域で小規模患者クラスター（集団）が把握されているが、大規模感染拡大が認められている地域はない。

流行の早期終息には、クラスターが次のクラスターを生み出すことの防止が重要であり、患者増加のスピード抑制が国内流行を抑える上で重要な意味を持つ。

あわせて、この時期は重症者対策の医療提供体制等を整える準備期間にあたる。

国、自治体、事業者、国民等が一丸となって対策を進めるため、現在の対策と今後を見据えた対策を整理し基本方針を示すもの。

2 新型コロナウイルス感染症について現時点で把握している事実

- 一般的状況では飛沫・接触感染で、空気感染はないものと考えられるが、閉鎖空間の近距離での多人数との会話等は、咳やくしゃみ等がなくても感染拡大のリスクがある。
- 感染力は事例により様々。特定の人からの感染拡大が疑われる事例がある一方、多くの事例では、周囲の人にはほとんど感染させていない。
- 発熱等が1週間前後持続することが多く、倦怠感を訴える人が多い。季節性インフルエンザより入院期間が長くなる事例が報告されている。
- 罹患しても軽症、治癒する例も多い。重症度は季節性インフルエンザと比べて高いリスク。特に高齢者・基礎疾患を有する者は重症化リスクが高い。
- 抗ウイルス薬がなく、対症療法が中心。迅速診断用簡易検査キットもない。
- 他のウイルス治療薬等が効果的である可能性がある。

3 現時点での対策の目的

- 早期終息を目指しつつ、患者増加のスピードを抑制し、流行の規模を抑える。
- 重症者の発生を最小限に食い止めるべく万全を尽くす。
- 社会・経済へのインパクトを最小限にとどめる。

4 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針の重要事項

(1) 国民・企業・地域等に対する情報提供

- ① 正確でわかりやすい情報提供や呼びかけを行い冷静な対応を促す。
 - ・ 発生状況、病態等の正確な情報提供
 - ・ 手洗い、咳エチケット等の対策徹底
 - ・ 発熱等の風邪症状の場合の休暇習得、外出自粛等呼びかけ
 - ・ 相談をせずに医療機関を受診することによる感染リスクの呼びかけ
- ② 風邪症状職員等の休暇取得勧奨、テレワークや時差出勤の推進等呼びかけ。
- ③ イベント等開催は、全国一律の自粛要請はしないが、必要性の検討要請。
- ④ 感染拡大に滞在する邦人等への適切な情報提供、支援。
- ⑤ 国民、外国政府、外国人旅行者への情報提供で感染防止と風評対策につなげる。

(2) 国内での感染状況の把握

ア 現行

- ① 医師からの届出により疑似症状患者にPCR検査を実施。患者確認の場合は、積極的疫学調査により濃厚接触者を把握。
- ② 地方衛生研究所等の検査機能の向上。
- ③ 学校関係患者情報について、都道府県保健衛生部局と教育委員会等部局で共有。

イ 今後

確定診断のためのPCR検査に移行しつつ、発生状況調査の仕組みを整備。

(3) 感染拡大防止対策

ア 現行

- ① 積極的疫学調査を実施し、濃厚接触者に対する健康観察、外出自粛要請等。患者クラスターの把握と、関係する施設の休業やイベント自粛等要請。
- ② 高齢者施設等における施設内感染対策の徹底。
- ③ 公共交通機関等多数の人が集まる施設の感染対策の徹底。

イ 今後

- ① 患者数が継続的に増えている状況では、積極的疫学調査や濃厚接触者の健康観察は縮小し、広く外出自粛の協力要請にシフト。患者クラスターへの対応を継続、強化。
- ② 学校等での感染対策方針の提示、臨時休業等の都道府県等から設置者等への要請。

(4) 医療提供体制

ア 現行

- ① 帰国者・接触者相談センターを整備し、24時間対応。
- ② 帰国者・接触者相談センターから帰国者・接触者外来へ誘導。
- ③ PCR検査を実施し、入院措置。
- ④ 病床や人工呼吸器等の確保。
- ⑤ 治療法や治療薬、ワクチン、簡易検査キットの開発等に取り組む。

イ 今後

- ① 患者数が大幅に増えた状況での外来は、一般の医療機関で診療時間や動線を区分する対策を講じた上で、感染疑い患者を受入。重症者を受け入れる感染症指定医療機関から順に帰国者・接触者外来を段階的に縮小。
風邪症状が軽度の場合は自宅療養を原則。状態変化の場合に相談の上、受診。風邪症状がない高齢者や基礎疾患を有する者等への継続的な医療・投薬は電話診療による処方箋発行で、受診しなくてもよい体制を構築。
- ② 病床や人工呼吸器等の確保、医療機関の役割分担など入院医療提供体制を整備。
- ③ 院内感染対策の更なる徹底。医療機関への感染制御に必要な物品の確保。
- ④ 高齢者施設等での感染疑い者発生の場合、防止策の徹底と入院医療につなげる。

(5) 水際対策

入国制限、渡航中止勧告等は引き続き実施。一方で検疫は医療資源確保の観点から、国内の感染拡大防止策等に応じた運用にシフト。

(6) その他

- ① マスク等の増産や円滑な供給を関連事業者に要請。
- ② マスク等の過剰な在庫を抱えないよう消費者等に冷静な対応な呼びかけ。
- ③ WHO等の対応状況の情報収集。日本での知見を積極的にWHO等と共有。
- ④ 中国からの一時帰国児童等の学校受入支援やいじめ防止等の取組実施。
- ⑤ 患者や対策関係者の人権に配慮した取組を行う。
- ⑥ 空港、港湾、医療機関等のトラブル防止のため、必要な警戒警備を実施。
- ⑦ 混乱に乗じた各種犯罪抑止、取締りの徹底。

5 今後の進め方について

厚労省をはじめとする各府省が連携の上、関係者等に所要の通知を発出。地域ごとの各対策の切替えのタイミングは厚労省が考え方を示した上で、自治体が厚労省と相談し判断。

事態な進行や新たな科学的知見に基づき、方針の修正が必要な場合は、本対策本部において、専門家会議の議論を踏まえつつ更新する。

道民の皆様へ

令和2年3月12日

新型コロナウイルス緊急事態宣言（お願い）

＜道民の底力で STOP！コロナウイルス＞

◆政府の専門家会議では、

- ① 人と人との接触を避ける行動をとれば、感染者の発生が減少する。
- ② 若年層（10代後半～30代）が気付かぬうちに感染を拡大している可能性があるとの見解が示されております。

今週末（14日～15日）も、もし外出するときは、
次のことを必ず確認してください。

- 1 体調は大丈夫？風邪ぎみではありませんか？
- 2 人が大勢集まったり、風通しが悪い場所では
ありませんか？
- 3 感染リスクを下げる方法をご存じですか？



◆道民の皆様（特に若い方）のご理解とご協力を、よろしくお願いします。

北海道知事 鈴木 直道

1 体調は大丈夫？ 風邪ぎみではありませんか？

○専門家からの報告では、「症状の軽い人も、気がつかないうちに、感染拡大に重要な役割を果たしてしまっている、また、若年層により感染が拡大している可能性がある」と指摘されています。



- ◆風邪の症状に似ているので、のどの痛み、咳、発熱などがある場合は、外出しないようにしてください。
- ◆ご自身やご家族の熱を測るなど、健康チェックに努めてください。
- ◆石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の他、咳エチケットに努めてください。
- ◆特に、若者の皆様のご理解とご協力をお願いします。



2 人が大勢集まったり、風通しが悪い場所ではありませんか？

○専門家からの報告では、「ライブハウスや友人宅での大人数での飲み会など、屋内の閉鎖的な空間で、人と人が至近距離で、一定時間以上交わることによって、患者が発生する可能性がある」と指摘されています。



◆換気が悪く、不特定多数の人が密に集まるような空間は、感染リスクが高いことから、その規模の大小に関わらず、避けてください。

◆自宅の部屋など、窓のある環境では、可能であれば2方向の窓を同時に開け、建物内の換気に努めてください。

◆特に、若者の皆様のご理解とご協力をお願いします。



3 感染リスクを下げる方法をご存じですか？

○専門家からの報告では、「症状のない方にとって、屋外での活動や人との接触が少ない活動の他、一定程度の距離をとった会話は、感染リスクが低い」とされております。



◆会話は、手を伸ばして相手に届かない程度の距離をとるか、**自分から飛沫を飛ばさないようマスクを装着**することが望ましいとされています。

◆買い物は、混雑していない時間帯を選ぶといった配慮が必要です。

◆散歩やジョギング等は、感染リスクが低いとされています。

◆特に、若者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

